

野 継続も文能のうち

金田国武

私が「日本未来派」へ入会したのは、たし

か昭和三十八年だ、たと思ふ。作品が掲載さ

れたのは三十九年二月発行の一〇九号からで

「辛い農法」という詩であつた。

私たちは戦後三号雑誌を重ねた後、当時

「星林」という詩誌によつていた。当初の「

星林」は、大町小学校の教師であつた龍野咲

人が昭和八年に県内の詩人を結集して発行し

たものであるが、戦時体制のもとで三〇号を

もつて廃巻を余儀なくされたので、私たちの

ものは「二次」「星林」と呼ぶべきなのであつ

た。

メンバーは一次からの北沢勝二、恩田よし

あき、渡辺一司、赤石信久、島崎雅夫、秋園

隆、守藤康男、金田国武等であつたが、二十

九年に二〇号として解散。その後草飼稔の

紹介で、赤石、島崎、秋園、守藤、金田が中